

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	実験実習IB	
科目基礎情報							
科目番号	0020		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	情報工学科		対象学年	1			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	担当者より配布する						
担当教員	米村 恵一, 渡邊 孝一						
到達目標							
プログラミングの基本構文を理解し、基礎的なプログラムが書ける。基本を組み合わせ、やや応用的なプログラムを書くことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
プログラミングの基礎	基礎を十分に理解している		基礎をある程度理解している		優、良にて必要な到達を満たせない		
プログラミングの応用力	応用力を十分に発揮している		応用力をある程度発揮している		優、良にて必要な到達を満たせない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	配列、文字型、文字列といったデータの基本を習得する						
授業の進め方・方法	データの基本を含むプログラムを提示し、その動きを説明したのち、様々な課題に取り組む。課題は、サンプルを少し変更だけで解けるものから、基本をうまく活用しなければいけないものまで幅広く扱う。座学で考え、演習にて作成し実行して確認・検証を行う。						
注意点	大切なのは正解することではなく、その過程で考えること・考えたことである。クラスメートとの議論も大切な時間となる。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	switch-case文の演習			switch-case文を理解する	
		2週	配列の演習 (その1)			配列を理解する	
		3週	配列の演習 (その2)			配列をさらに理解する	
		4週	文字型の演習			文字型を理解する	
		5週	文字列の演習 (その1)			文字列を理解する	
		6週	文字列の演習 (その2)			文字列をさらに理解する	
		7週	switch-case文の応用演習			配列、文字型、文字列を扱いswitch-case文を理解する	
		8週	プログラミングコンテスト1			オリジナルのプログラムを作り理解を深める	
	4thQ	9週	プログラミングコンテスト1の解説			良い点、参考にしたい点を考え理解を深める	
		10週	for文の応用演習			配列、文字型、文字列を扱いfor文を理解する	
		11週	応用プログラム作成 1			自らテーマを設定し、やや応用的なプログラムを作る	
		12週	応用プログラム作成 2			やや応用的なプログラムを作る中で、アルゴリズムの考え方を理解する	
		13週	応用プログラム作成 3			やや応用的なプログラムを作る中で、データ構造の考え方を理解する	
		14週	応用プログラム作成 4			やや応用的なプログラムを作る中で、デバッグの考え方を理解する	
		15週	プログラミングコンテスト2			オリジナルのプログラムを作り理解を深める	
		16週	プログラミングコンテスト2の解説			良い点、参考にしたい点を考え理解を深める	
評価割合							
	プログラミング コンテスト1	プログラミング コンテスト2					合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
基礎能力	40	40	0	0	0	0	80
応用力	10	10	0	0	0	0	20
	0	0	0	0	0	0	0